

国労東日本本部

GS社員の雇用期間5年満了について、雇用継続を申し入れる

国労東日本申第23号(2011年6月13日)



(組合員の購読料は組合費に含まれます)

港区新橋5-15-5
交通ビル
国労東日本本部
発行責任者 高野苗実
編集責任者 伊藤隆夫

No. 713 定価 20円

2011年

6月 16日

国労加入で変えよう 職場と労働条件

<http://www.e-nru.com>

携帯用ホームページはこちらのQRコードから

資料①

国労東日本申第23号(2011年6月13日)

- 2011年度において雇用契約更新期間が満了する契約社員については、2012年度以降JR東日本グループ会社等において雇用の継続を図ること。
- 雇用契約更新期間が満了する契約社員のうち希望する者については、直近する「グリーンスタッフ募集」において採用し、経過措置の新設・適用を図り労働条件等に反映させること。

5月11日、国労東日本本部は、震災後初めての「各地方書記長・業務部長会議」を開催しました。会議は、東日本震災後の取り組みや地方の状況、またこの影響による交渉の現状などを共有するとともに、多くの問題が寄せられているエルダー制度など当面する課題での意思統一をしました。今号は①緊急な課題であるGS社員問題②水戸地本歓迎会報告③運輸協議会報告④西日本本部交流会報告、とします。(契約社員「グリーンスタッフ」GS)

この間、国労東日本は、希望者全員の正社員化に向けたルール作りに向け、「職場に格差はいらない」「GS社員の正社員化を求め」署名行動や、節々の要求の中で取り組みを強めてきました。「NF2008における今後の駅のあり方」施策により、首都圏の駅職場に契約社



今年4月の新規採用者(社会人採用)で国労に加入した中村賢太郎さん(水戸地本・土浦地区分会)

水戸地本・牛久駅で中村さんが加入 5年連続で新規採用者が国労に加入

今年4月の新規採用者(社会人採用)で国労に加入した中村賢太郎さん(水戸地本・土浦地区分会)として「グリーンスタッフ(GS)」が配置されました。その数は累計すると3千

土浦で開催された。主催者挨拶をした地区分会・松田分会長は、「国労の役員は性格や仕事ぶりを見て中村君は自分で判断された。でもその役員の性格や仕事ぶりは国労がつくった。そこに自信をもって国労の先頭に立って頑張っていきたい。」と満面の喜びで語った。

水戸地本・大和田副委員長は、「今日は一年前に加入した勝田駅の塙君の名に近い数となっており、配置支社の駅職場においては実務作業の上で重要な役割を担っています。また、その内容は新規採用社員の「指導」など多岐にわたっているのが実態です。こうした現状のなか、制度上の累計雇用期間満了である5年目を迎える契約社員が多数存在しています。正社員への登用の最終機会である平成24年度社会人採用試験に悲痛な思いで臨むGS社員の胸中を察すれば、

「制度」を理由に雇用継続を断ち切ることは、この間、駅職場という最前線でJR東日本の「顔」として奮闘してきた、GS社員を路頭に迷わすことに他なりません。国労東日本本部は、以上の立場から雇用継続に関する要求に絞って具体的には2項目(資料①)について申し入れ、速やかに団体交渉を開催することを強く求めています。中村さんは国立大学を出た後、専門の学業を専ら仕事に14年間ほど就いたが、『乗り鉄』の気持ちを抑えられず、10万円程の減収にも関わらずJR東日本に就職した。きつと、これからのJR東日本を背負って立つ人材となることは疑う余地がない。激励と連帯で歓迎しよう。

東日本本部・高野委員長は「中村さんの加入に勇気を頂いた。5年連続で新規採用者が国労に加入しているし、未だ国労加入を検討している若い人もいます。仕事をきちんとやりながら、取り組みを強化していきたい。」と激励した。

中村さん本人からは、「いくつかの労働組合がある中で、自分を成長させてくれるのはどこかで選んだのが国労。国労は一人ひとりを大切にしてい

勢は言うに及びません。この間、駅職場という最前線でJR東日本の「顔」として奮闘してきた、GS社員を路頭に迷わすことに他なりません。国労東日本本部は、以上の立場から雇用継続に関する要求に絞って具体的には2項目(資料①)について申し入れ、速やかに団体交渉を開催することを強く求めています。中村さんは国立大学を出た後、専門の学業を専ら仕事に14年間ほど就いたが、『乗り鉄』の気持ちを抑えられず、10万円程の減収にも関わらずJR東日本に就職した。きつと、これからのJR東日本を背負って立つ人材となることは疑う余地がない。激励と連帯で歓迎しよう。

第1回東日本運輸協議会役員会の報告

「東日本大震災」の経験と教訓から
運輸協議会として調査・点検の取り組みを強化

5月26日、第1回東日本運輸協議会役員会が交通ビル3階会議室で開催されました。東日本本部松井書記長のあいさつに続き、鹿島運輸協議会議長があいさつし、東日本大震災による被害状況の深刻さを訴えるとともに、地震発生時の対応マニュアルの問題点や指令の対応の問題、さらには福島第一原発の放射性物質漏えいに対する会社の対処の不十分さ等について指摘しました。

議長あいさつ後の議題に入り、東日本大震災の被災実態報告として、仙台地本営業分科から常磐線山下駅の山田芳夫さん、車掌分科から仙台運輸区の岩渕正則さんがそれぞれの実体験を踏まえて報告しました。常磐線山下駅の山田芳夫さんからは、自身が業務中に被災した状況を踏まえ、地震当日の職場の様子や地

震前後の対応、お客様の誘導、さらに避難所に避難しからの活動を体験に基づいてリアルに語りました。仙台運輸区の岩渕さんからは、今回の地震による津波で亡くなられた水戸地本の阿部さんが、車掌仲間と飲み友達であったと悔しい胸の内を明かすとともに、地震発生直後に乗務中の車掌がどのような状況下におかれ、どう対応したのか、詳細に報告されました。特に、指令とのやり取りがで

きなくなった状況でのお客様の避難・誘導には大変な苦労をしたこと、災害時の情報伝達方法の改善やハザードマップの見直しが必要であることを強調していました。その後、被災地本からの報告として、盛岡地本の村

上議長、仙台地本の千葉議長、水戸地本の菊池議長からそれぞれの地方における被災状況と取り組みについて、報告がありました。今回の役員会は、「東日本大震災」の経験と教訓から、改善すべき事柄を明らかにし、今後の運動に生かしていくことが大きな主題となりました。被災地からの報告だけでなく、首都圏においても帰宅困難者が発生し、駅における対応が混乱した問題、計画停電の影響で列車ダイヤの乱れが一定期間続き、安定輸送を確保できなかった問題、さらには地震当日勤務者の勤務扱いや会社の対応の問題点など、多くの問題点が出されました。今後はこうした問題点の改善をめざし、運輸協議会として調査・点検の取り組みを強化することを意思統一して散会しました。

その後、被災地本からの報告として、盛岡地本の村

「がん」の保障

＜生きるためのがん保険Days(デイズ)＞

保険期間：終身
(抗がん剤治療特約は10年更新)
契約年齢：0歳～80歳
スタンダードプラン
入院給付金日額 10,000円の場合

初めて診断確定されたとき	診断給付金
がんの場合	一時金として 100万円
上皮内新生物の場合	一時金として 10万円
入院したとき	入院給付金
1日につき	10,000円
通院したとき	通院給付金
1日につき	10,000円
手術したとき	手術治療給付金
1回につき	20万円
放射線治療を受けたとき	放射線治療給付金
1回につき	20万円
抗がん剤治療を受けたとき (上皮内新生物は対象外)	抗がん剤治療給付金
抗がん剤治療を受けた月ごとに	10万円
1カ月	10万円
乳がん・前立腺がんのホルモン療法するとき	5万円
1カ月	5万円
(すべての保険期間を通じ通算600万円まで)	

プレミアムサポート
訪問面談サービスと専門医紹介
(このサービスは、株式会社 法研が提供するサービスです)
◎詳しくは、パンフレット(契約概要)をご覧ください。

「生きる」を創る。Affac

◆月払保険料(団体取扱)(2011年4月1日現在)
生きるためのがん保険DAYS(デイズ) スタンダードプラン
入院給付金日額 10,000円 定額タイプ
保険料払込期間：終身(抗がん剤治療特約は10年更新)

	35歳	45歳	55歳	65歳
男性	3,656円	5,608円	9,360円	15,190円
女性	3,734円	5,274円	6,864円	9,048円

＜抗がん剤治療特約＞の更新後の保険料は更新時の年齢・保険料率によって決まります。
＜募集代理店＞ アベニール株式会社
TEL：03-3437-6810 FAX：03-3437-6822
〒105-0004 東京都港区新橋5-15-5 交通ビル3F
＜引受保険会社＞ アフラック 東京第三法人営業部
〒163-0456 東京都新宿区西新宿2-1-1 新宿三井ビル
当社保険に関するお問い合わせ・各種お手続き
コールセンター 0120-5555-95
AF007-2011-0186 4月25日

変わらないなら変えよう
国労の手で!

国労西日本本部職場活動活性化
組織拡大交流機関会議から

5月28日、大阪リバーサイドホテルにおいて、西日本本部組織拡大交流機関会議が開催されました。

西日本本部では、一昨年の大会以降、旅客、貨物、自動車はじめ関連会社の労働者も含め17名の仲間が国労に復旧・加入をしています。

拡大の報告では、「年間60万円の賃金引き下げを狙

い準社員をパートに降格させる不利益変更は許せないと国労に相談。その4名が国労加入を決意し要求書を提出した。」(山口メンテック)「国労は壁新聞などで主張すべき事を主張している。みんなの思いを反映してくれる組合である、と3

名が加入し中国ジェイアールバス)などJR社員のみならず、契約社員や関連会社からの国労加入も多くなっていることが特徴的でした。東日本本部からも武田組織部長が参加し、東日本では、①一括和解以降5年連続で新規採用者加入に至っている状況。②契約社員時に国労加入し、今は正社員として奮闘する自動車の仲間。③グリーンスタッフの国労加入者が社会人採用試験に合格し、4月から正社員として頑張っていること等を紹介しました。

集会のまとめでは、国労全体が職場にこだわり、仲間と交流しあいながら東日本、西日本がお互いに拡大の流れを更に大きくしていくことを確認していました。



東日本・西日本での拡大の流れを更に大きくしよう



第14回職場活動活性化・組織拡大交流機関会議